

種子島ばれいしょ「かごしまブランド団体認定」 新選果機導入記念祝賀会を開催！



このほど、JA種子屋久は、かごしまブランド産品「かごしまのばれいしょ」を生産出荷するかごしまブランド団体として鹿児島県より認定を受けました。また令和6年度に国の産地生産基盤パワーアップ事業にて整備した新たな選果設備が完成し、試運転を兼ねた運用が始まっています。

これを受けて、2月26日にホテルニュー種子島にて多くの生産者および東京や北陸など、全国の市場関係者や鹿児島くみあい食品などの出荷先、県経済連、熊本支庁、地元市町などの関係機関を招き記念祝賀会が開催されました。

かごしまブランド団体とは、県を代表する農畜産物「かごしまブランド産品」の生産出荷において、一定の基準を満たした団体として認定されるもので、信頼と高品質が認められた証でもあり、今後ブランド産品としてPRの機会が広がるのが期待されます。JA種子屋久では、新たなばれいしょ選果設備の導入により選果能力が大幅に向上し、高品質で安心・安全なばれいしょを消費地へ届けられるようになるため、今回申請し、無事に認定を受けました。

新たな選果設備は、労働力不足の現状から原料の入ったコンテナをパレットのまま投入でき、選別梱包した製品を自動でパレットに積みあげるなど省力化やパレット物流への対応だけでなく、選別も3Dレーザービジョンにて行い高精度な選別が可能になるものです。

出席した種子屋久農協園芸振興会連絡協議会の梶原敏夫会長は、「新たな選果設備により選果能力が向上した分、生産者も面積拡大や反収向上に取り組み、ブランド団体として品質の高いばれいしょを生産できるように頑張りたい。」と話しました。

